

9月の学校風景



学級を2つに分けての分散登校が始まりました。昇降口の密を避けるために、登校時間も2学年ずつずらしています。昇降口では毎朝検温も行っています。子どもたちは検温する先生と、「おはようございます。」とあいさつを交わして教室に入っていきます。大切なコミュニケーションの時間です。

少ない人数での給食は、クラスみんなで協力して準備をします。登校しているほとんどの子が当番になるクラスもあります。当番でない子は、約束を守って、自分の席で待っています。給食を食べている間もとても静かです。子どもたちなりに、今の状況を考えていることが伝わります。



どの教室でもタブレットを使った学習が日常的に見られるようになりました。ロイロノートの使い方にはずいぶん慣れてきたようです。

低学年は自分で音読を録音したり、写真を撮ったりしたものを、担任に提出しています。担任から返事が来ると「先生からお手紙が来たよ。」ととてもうれしそうでした。2年生の音楽の授業ではタブレットを活用しながら鍵盤ハーモニカの指遣いを学習する様子も見られました。

新しいことに取り組む姿は、とても真剣で、楽しそうでもあります。



タブレットやスマートフォンなど、以前は大人だけが使っていたものが子どもにも身近なものになりました。タブレットでの学習はとても楽しいようで、夢中になっている様子が学校のあちらこちらで見られます。大人が使っているものはそれほど子どもの目に魅力的に映っているということでしょうか。

先日お配りした「ペアレンタルコントロール」についてのプリントの中には、「今の子どもたちはサイバー空間が遊び場になっています。」という一文がありました。大人の管理がとても大切ですが、便利さの裏側に、どんな危険性があるのかについてはまだ私たち大人にもわからないところが多いのが現状です。ひょっとしたら、興味をもっていろいろ試している子どものほうが詳しいかもしれません。

タブレットでの子どもとのやりとりや学習を通して、普段から他人を思いやる気持ちやきまりを守ろうとする気持ちを、保護者の皆様と一緒に大切にはぐくんでいきたいと思いました。



専任より

学びを止めずに

詳しくは学校ホームページに掲載中



各学年の教室前には、夏休みの自由研究や絵日記が並んでいます。どれも力作ぞろいで、とても見ごたえがあります。絵日記には、夏休みの思い出がかかれていました。

5・6年生は家庭科の課題で料理に挑戦しました。とてもおいしそうな写真やイラストが掲示されていました。休み時間は同じ学年の友達の作品を見て過ごす児童も多く見られます。

1年生は図工の時間に、ペットボトルキャップを使って造形遊びをしました。同じ色を選んで並べる子、長く長くつなげていく子、高く積み重ねる子、いろいろな楽しみ方がありました。たくさんあったキャップがなくなってしまうほど、夢中になって取り組んでいました。



3年生が、理科の学習で育ててきたハウセンカに種ができました。校庭にある他の植物の種も探そうという言葉きっかけに、外に出て観察をしました。マリーゴールドやヒマワリの種が見つかりました。「この小さいのが全部種なの。」と驚いていました。

4年生は図工の時間に「元気のお守り」を制作しました。紙粘土に絵の具を練りこみ、色の変化や感触を楽しんでいました。見ると元気が出る色や形を考えて表現します。

